

Ⅱ 水道の普及状況と推移

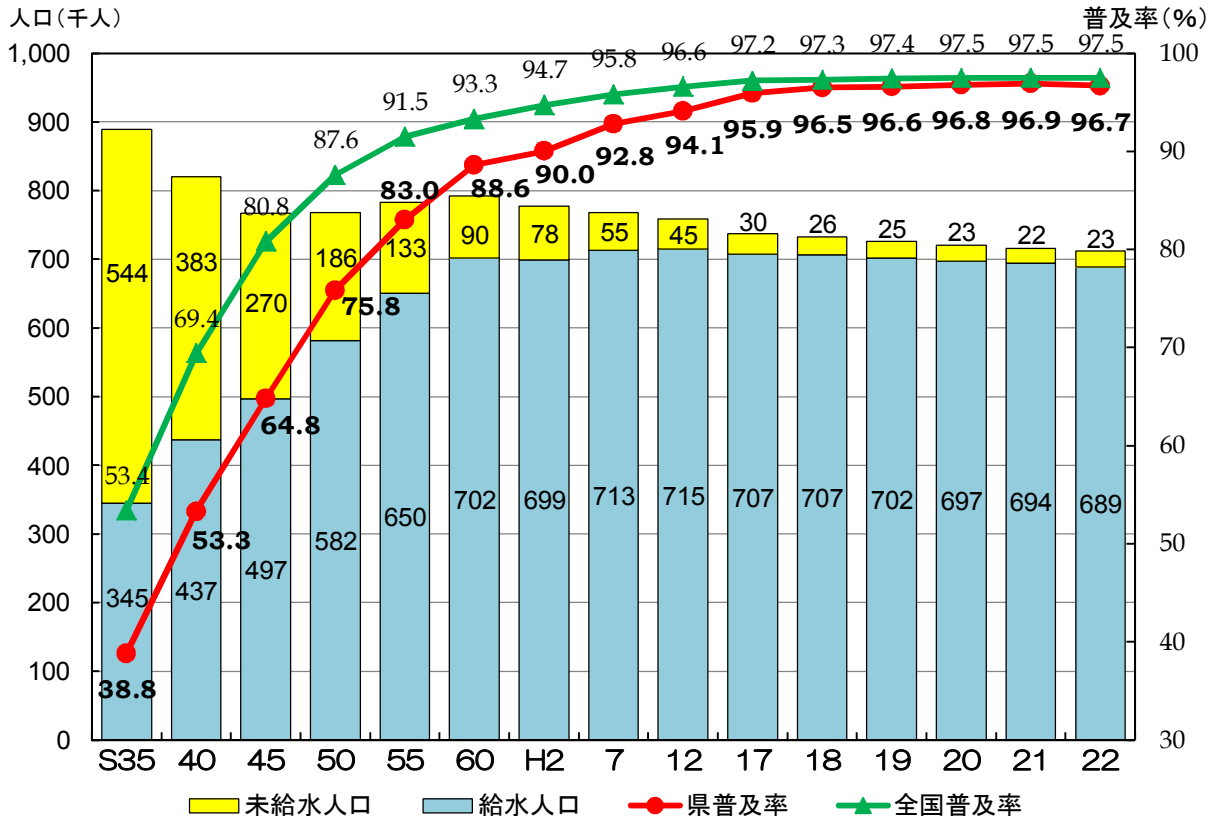
1 給水人口及び普及状況の推移

平成22年度末現在、県内で水道を利用している人は688,632人であり、県人口の96.7%を占める。また、昭和35～45年度で約15ポイントあった全国平均との格差もしだいに縮小されつつあり、近年は1ポイント前後の格差となっている。

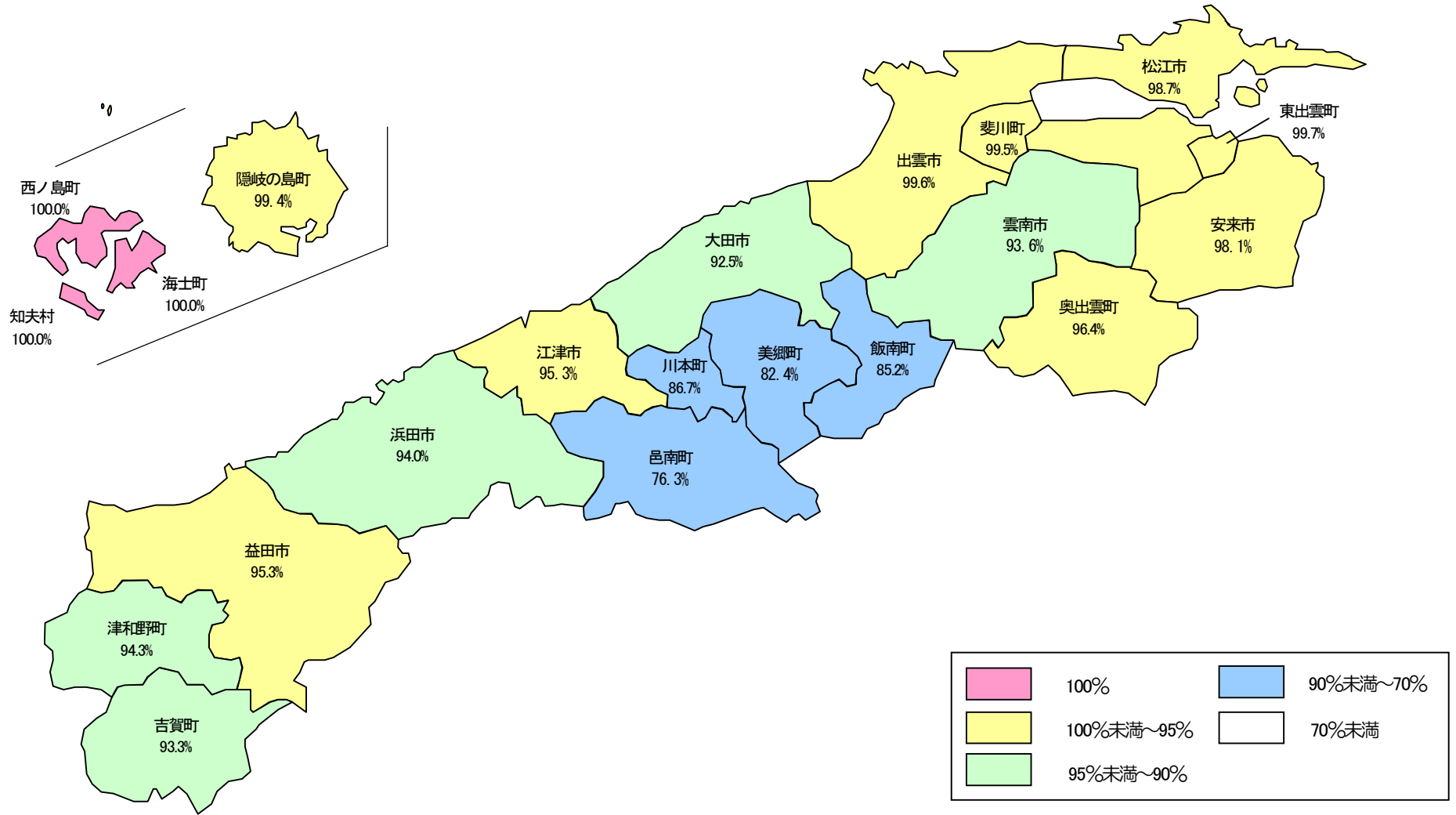
〔表2-1〕 本県における水道普及率及び給水人口の推移

年 度	A 県総人口	B 給水人口	B/A 県普及率 %	給 水 人 口 内 訳						(参考) 全 国 普及率
				上 水 道		簡 易 水 道		専 用 水 道		
				箇所数	給水人口	箇所数	給水人口	箇所数	給水人口	
S35	888,866	344,868	38.8	15	218,336	141	117,554	15	8,978	53.4
S40	820,070	437,237	53.3	18	305,249	161	126,629	13	5,359	69.4
S45	767,402	497,106	64.8	17	338,831	193	150,636	16	7,639	80.8
S50	767,910	581,850	75.8	17	401,427	211	174,713	11	5,710	87.6
S55	783,341	650,307	83.0	19	472,365	213	177,104	7	838	91.5
S60	791,780	701,770	88.6	20	505,348	206	195,643	6	779	93.3
H2	777,019	699,434	90.0	20	510,765	208	187,542	10	1,127	94.7
H7	768,299	712,909	92.8	20	522,659	217	189,198	10	1,052	95.8
H12	759,033	714,521	94.1	19	528,311	205	185,739	3	471	96.6
H17	737,441	707,496	95.9	14	526,858	203	178,660	38	1,978	97.2
H18	732,235	706,522	96.5	13	523,040	203	181,374	39	2,108	97.3
H19	726,397	701,852	96.6	14	527,631	199	172,383	39	1,838	97.4
H20	720,290	697,450	96.8	14	525,854	198	169,805	42	1,791	97.5
H21	716,164	693,940	96.9	14	525,350	193	167,086	40	1,504	97.5
H22	711,932	688,632	96.7	14	522,793	189	164,816	35	1,023	97.5

〔図2-1〕 本県における水道普及率及び給水人口の推移



〔図2-2〕 市町村別水道普及図



平成23年3月31日時点

〔表2-2〕 市町村別水道普及率表

市町村 コード	市町村	行政区内 総人口	上水道			簡易水道			専用水道					
			箇所数	計画給水 人口	現在給水 人口	箇所数	計画給水 人口	現在給水 人口	自己水源のみによるもの			左記以外のもの		
									箇所数	確認時 給水人口	現在 給水人口	箇所数	確認時 給水人口	現在 給水人口
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		
201	松江市	192,281	(1) 3	187,530	159,078	34	39,070	30,442	3	610	355	10	2,967	3,212
206	安来市	41,295	1	44,125	31,970	(1) 10	(189) 10,389	(160) 8,561						
304	東出雲町	14,348	1	15,446	12,936	2	1,610	1,320	1	53	53			
	小計	247,924	(1) 5	247,101	203,984	(1) 46	(189) 51,069	(160) 40,323	4	663	408	10	2,967	3,212
209	雲南市	41,510	3	32,650	29,943	17	10,476	8,815	2	88	78			
343	奥出雲町	14,307				14	16,433	13,797						
386	飯南町	5,493				6	7,343	4,679						
	小計	61,310	3	32,650	29,943	37	34,252	27,291	2	88	78			
203	出雲市	143,412	1	133,300	122,928	15	24,883	19,839	1	500	43	3	250	250
401	斐川町	27,637	(1) 1	26,422	26,854	2	834	652						
	小計	171,049	(1) 2	159,722	149,782	17	25,717	20,491	1	500	43	3	250	250
205	大田市	37,775	1	42,500	27,892	(1) 12	(1,500) 12,138	(530) 6,901	4	168	146			
441	川本町	3,843				1	3,350	3,332						
448	美郷町	5,305				10	6,198	4,371						
449	邑南町	11,822				9	12,090	9,026	1					
	小計	58,745	1	42,500	27,892	(1) 32	(1,500) 33,776	(530) 23,630	5	168	146			
202	浜田市	61,317	1	49,977	43,325	9	20,056	14,293	1			2	2,450	2,190
207	江津市	25,475	1	18,823	18,032	4	6,910	5,975	4	409	258			
	小計	86,792	2	68,800	61,357	13	26,966	20,268	5	409	258	2	2,450	2,190
204	益田市	49,627	1	38,200	39,954	9	8,998	7,324				1		
501	津和野町	8,283				6	8,836	7,741	1	81	66			
505	吉賀町	6,748				8	8,003	6,271	1	36	24			
	小計	64,658	1	38,200	39,954	23	25,837	21,336	2	117	90	1		
525	海士町	2,319				1	2,342	2,319						
526	西ノ島町	3,112				1	3,260	3,112						
527	知夫村	660				1	960	660						
528	隠岐の島町	15,363	1	9,700	9,881	18	7,243	5,386						
	小計	21,454	1	9,700	9,881	21	13,805	11,477						
計	市	592,692	(1) 12	547,105	473,122	(2) 110	(1,689) 132,920	(690) 102,150	15	1,775	880	16	5,667	5,652
	町	118,580	(1) 3	51,568	49,671	78	77,542	62,006	4	170	143			
	村	660				1	960	660						
総計	711,932	(2) 15	598,673	522,793	(2) 189	(1,689) 211,422	(690) 164,816	19	1,945	1,023	16	5,667	5,652	
			純計 14											

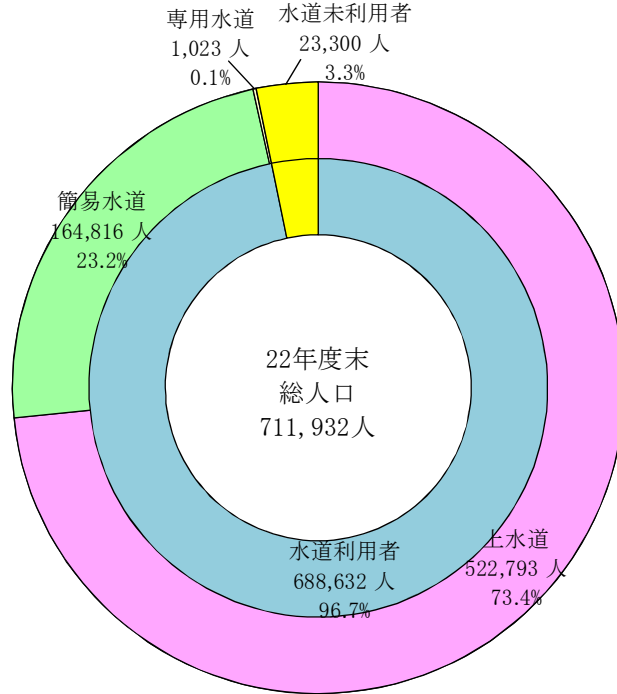
(注) 複数市町村にまたがる上水道について、「箇所数」については関係市町村に1つの水道として計上し、「計画給水人口」「計画給水人口」にそのため、「上水道」欄と「合計」欄における「箇所数」の()内は、「複数市町村にまたがる上水道数」を内数として掲載している。また、「簡易水道」欄における「箇所数」「計画給水人口」「現在給水人口」の()内は、「組合(私)営」分を内数で掲載している。

(平成22年度)

合 計			普及率	(上段)飲料水供給施設 (下段)小規模水道施設			(参 考 値)					市町村
箇所数	計画給水人口	現在給水人口		箇所数	計画給水人口	現在給水人口	給水人口	給水率	個人設置 飲用井戸等 給水人口	個人的理由 による 未給水人口	整備率	
②+⑤+⑧+⑪ ヶ所	③+⑥+⑨ 人	④+⑦+⑩=⑭ 人	⑭/①×100 %	ヶ所	人	⑮ 人	⑭+⑯=⑰ 人	⑰/①×100 %	⑱ 人	⑲ 人	(⑰+⑱+⑲) /①×100%	
(1) 50	227,210	189,875	98.7	1	98	91						松江市
				1	88	72	190,038	98.8	1,857	64	99.8	安来市
11	54,514	40,531	98.1	5	311	173	40,750	98.7	351		99.5	東出雲町
				2	89	46						
4	17,109	14,309	99.7				14,309	99.7		46	100.0	小 計
(1) 65	298,833	244,715	98.7	6	409	264	245,097	98.9	2,208	110	99.8	
				3	177	118						
				1	45	26						雲南市
22	43,214	38,836	93.6	7	239	162	39,024	94.0	953	616	97.8	奥出雲町
				2	112	60						
14	16,433	13,797	96.4	3	269	218	14,075	98.4	54	110	99.5	飯南町
				3	117	88	4,767	86.8	387	145	96.5	小 計
6	7,343	4,679	85.2	3	157	86						
42	66,990	57,312	93.5	13	625	468	57,866	94.4	1,394	871	98.1	出雲市
				1	26	27	142,837	99.6	86	300	99.9	斐川町
20	158,683	142,810	99.6				27,506	99.5		120	100.0	小 計
(1) 3	27,256	27,506	99.5	1	26	27	170,343	99.6	86	420	99.9	
(1) 23	185,939	170,316	99.6									
				4	296	282						大田市
17	54,806	34,939	92.5	22	220	1,007	36,228	95.9	985		98.5	川本町
				5	223	72	3,404	88.6	171	5	93.2	美郷町
1	3,350	3,332	86.7				5,015	94.5	200	65	99.5	邑南町
10	6,198	4,371	82.4	19	808	644	9,273	78.4	798	1,333	96.5	小 計
				6	516	228						
10	12,090	9,026	76.3	1	41	19	53,920	91.8	2,154	1,403	97.8	浜田市
38	76,444	51,668	88.0	10	812	510	57,956	94.5	590	114	95.7	江津市
				47	1,292	1,742	24,339	95.5	366	128	97.5	小 計
				2	130	74	82,295	94.8	956	242	96.2	
				2	130	74						
13	70,033	57,618	94.0	10	532	338						益田市
				2	130	74	47,840	96.4	92	52	96.7	津和野町
9	26,142	24,265	95.3	3	207	88	8,029	96.9	128	52	99.1	吉賀町
				21	770	474	6,461	95.7	28	200	99.1	小 計
11	47,198	47,278	95.3	7	437	172	62,330	96.4	248	304	97.3	
7	8,917	7,807	94.3	2	67	50						海士町
				1	71	55	2,319	100.0			100.0	西ノ島町
9	8,039	6,295	93.3	4	191	111	3,112	100.0			100.0	知夫村
				11	715	315	660	100.0			100.0	隠岐の島町
27	64,154	61,380	94.9	27	1,028	635	21,433	99.9	21		100.0	小 計
				2	111	26						
				2	96	49						
				2	111	26						
				2	96	49						
(1) 153	681,800	576,152	97.2	17	1,113	761	579,012	97.7	5,280	1,274	98.8	市
(1) 85	129,280	111,820	94.3	63	1,938	2,099	113,612	95.8	1,787	2,076	99.1	町
				18	1,247	541	660	100.0			100.0	村
1	960	660	100.0	39	1,812	1,251						
(2) 239	812,040	688,632	96.7	35	2,360	1,302	693,284	97.4	7,067	3,350	98.8	
				102	3,750	3,350						
純計 238				計	137	6,110	4,652					

ついでには関係市町村ごとに分けて計上している。

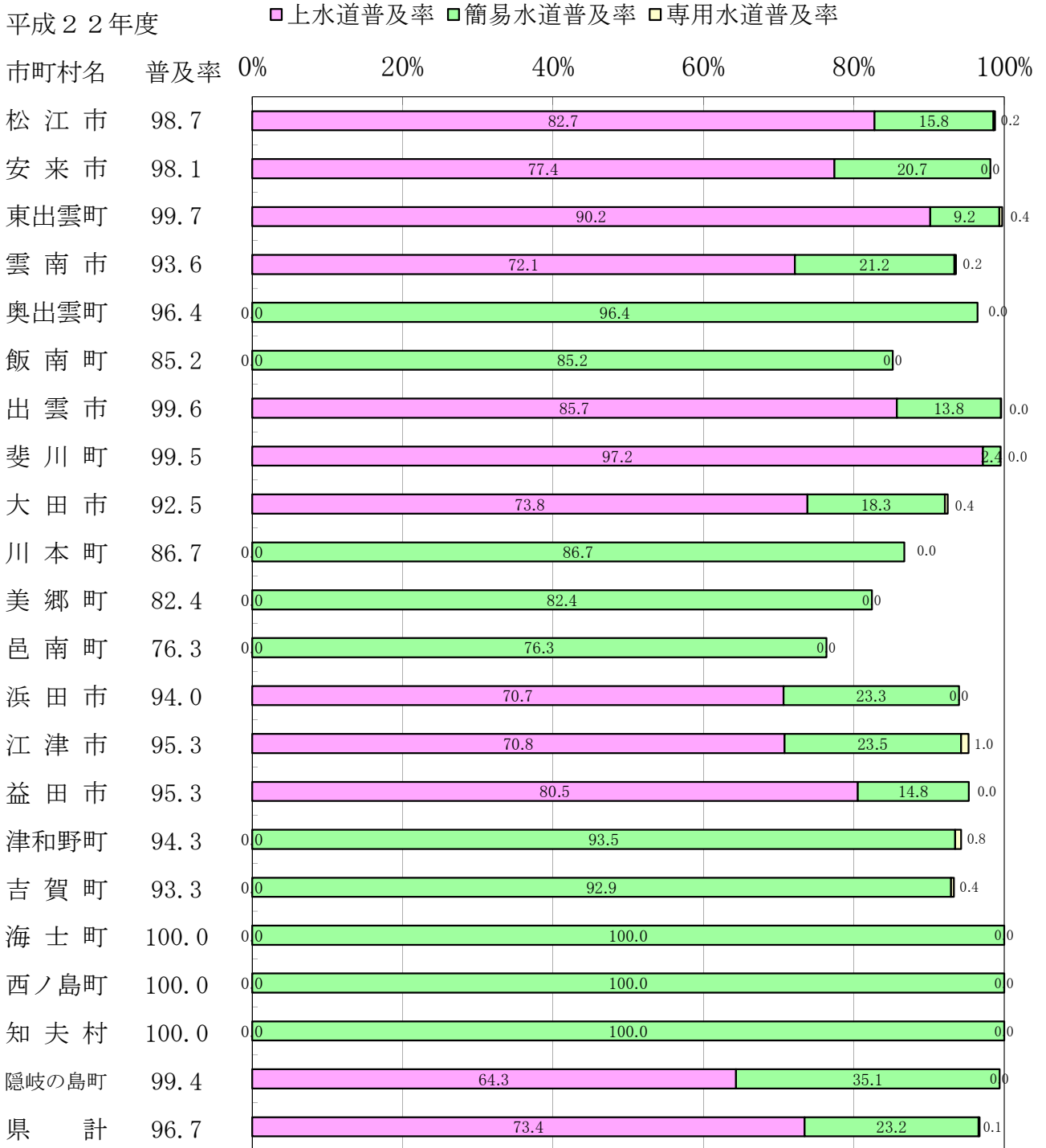
〔図 2-2-2 平成 22 年度 水道事業別水道普及状況〕



〔表 2-2-2 水道事業別水道普及状況の推移〕

年度	S35	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	18	19	20	21	22	
水道利用者	上水道	24.6	37.2	44.2	52.3	60.3	63.8	65.7	68.0	69.6	71.4	71.4	72.6	73.0	73.4	73.4
	簡易水道	13.2	15.4	19.6	22.8	22.6	24.7	24.1	24.6	24.4	24.2	24.8	23.7	23.6	23.3	23.2
	専用水道	1.0	0.7	1.0	0.7	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	計	38.8	53.3	64.8	75.8	83.0	88.6	90.0	92.8	94.1	95.9	96.5	96.6	96.8	96.9	96.7
水道未利用者	61.2	46.7	35.2	24.2	17.0	11.4	10.0	7.2	5.9	4.1	3.5	3.4	3.2	3.1	3.3	

〔図 2 - 2 - 3 市町村別事業別水道普及状況〕



(注) 端数処理のため、市町村別普及率と事業別普及率の合計が一致しないことがある。

2 水道事業等の推移

平成22年度末現在、簡易専用水道を除く水道法適用施設(水道事業等)は、全県で240箇所あるが、箇所数の大半は簡易水道事業が占めている。

上水道事業は、平成の市町村合併による統合で5か所程度減少している。

簡易水道事業は、昭和40年代に増加し、増(新設)減(統合)を繰り返しながら数としては200箇所程度で推移しているが、平成の市町村合併による大きな統合は見られない。なお、簡易水道事業統合計画によると、平成29年度までに大幅に減少する予定である。

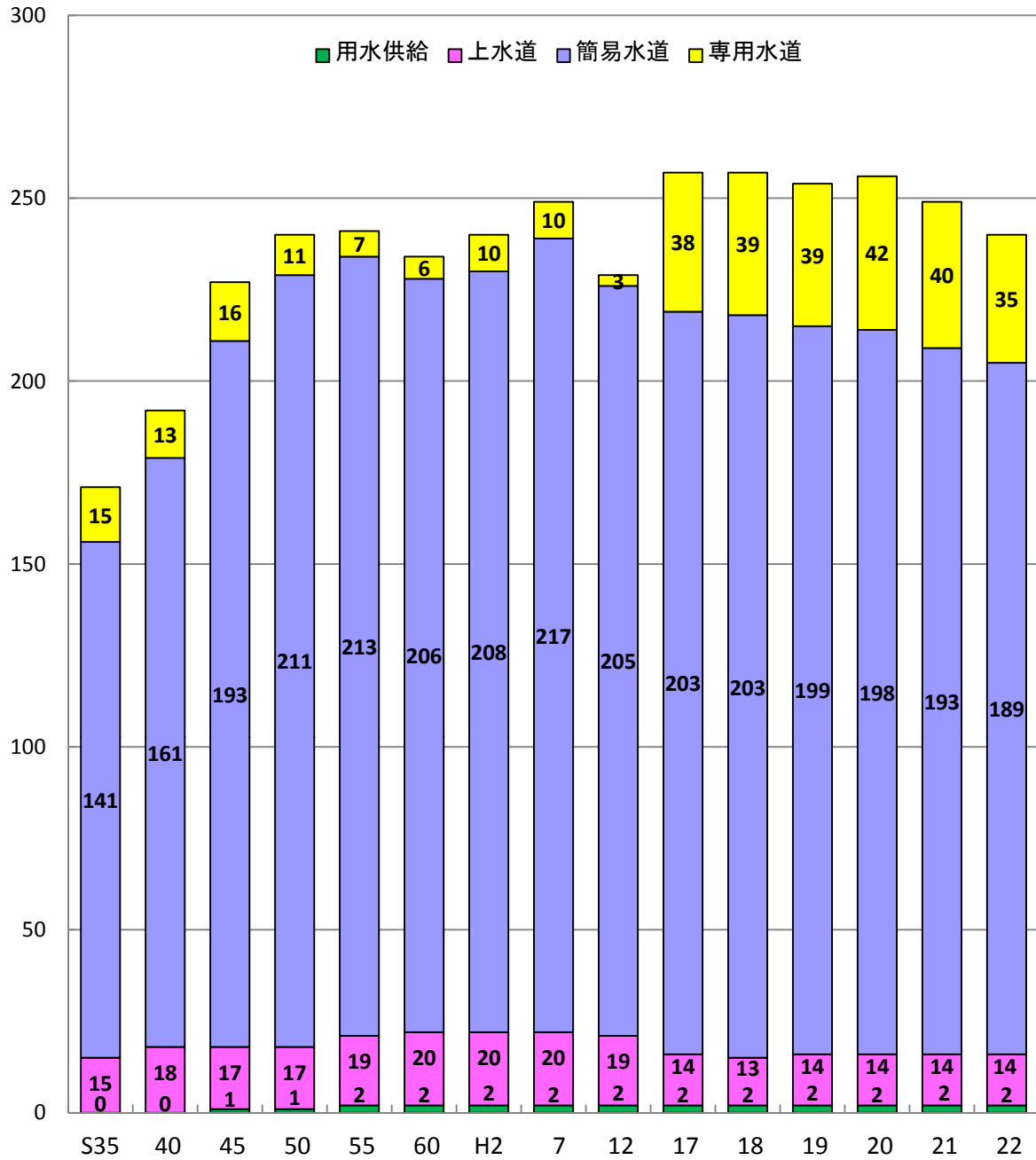
専用水道は、平成15年の法改正により適用施設が増加し、その後も少しずつ新設があるが、一方で水道事業への統合や施設移管により、漸減傾向にある。

〔表2-3〕 本県における水道事業数の推移

年 度	用 水 給	上 水 道			簡 易 水 道			専 用 水 道	合 計	飲 料 水 給 給 施 設	簡 易 専 用 水 道
		市 町 村 営	企 業 営	計	市 町 村 営	組 合 (私) 営	計				
S35		14	1	15	102	39	141	15	171		
40		16	2	18	133	28	161	13	192		
45	1	15	2	17	170	23	193	16	227	34	
50	1	14	3	17	191	20	211	11	240	37	
55	2	16	3	19	201	12	213	7	241	46	129
60	2	17	3	20	197	9	206	6	234	47	228
H2	2	17	3	20	199	9	208	10	240	46	508
7	2	17	3	20	208	9	217	10	249	49	635
12	2	16	3	19	203	2	205	3	229	57	756
17	2	13	1	14	201	2	203	38	257	50	862
18	2	12	1	13	201	2	203	39	257	51	878
19	2	13	1	14	197	2	199	39	254	50	908
20	2	13	1	14	196	2	198	42	256	48	912
21	2	13	1	14	191	2	193	40	249	42	923
22	2	13	1	14	187	2	189	35	240	35	928
:											
29 (予定)	2	13	1	14	6	2	8	簡易水道事業統合計画による			

〔図 2 - 3〕 本県における水道事業数の推移

[事業数]



3 取水状況

全県の取水量9千3百万 m^3 のうち、地下水が5千百万 m^3 で、56.3%を占めています。
また、県の用水供給事業等からの浄水受水も2千4百万 m^3 で、25.8%と高い割合になっています。

(1) 年間取水量

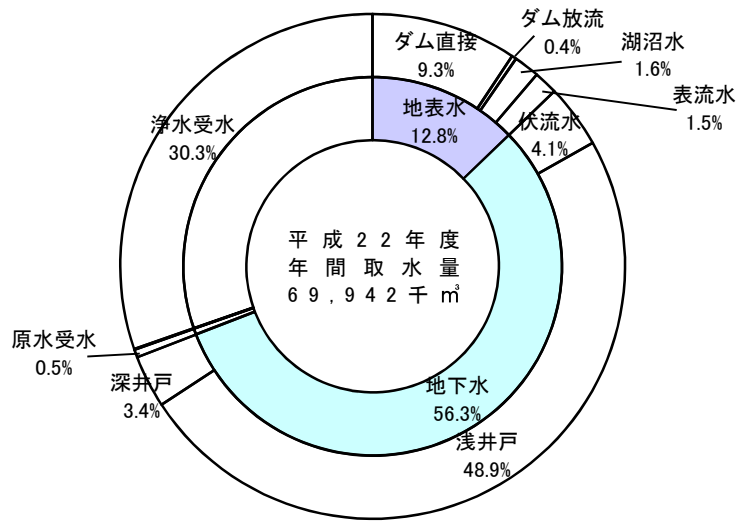
(平成22年度 単位：千 m^3)

水源		上水道	簡易水道	合計	用水供給
地表水	ダム直接	6,517	2,275	8,792	
	ダム放流	211	72	283	23,488
	湖沼水	1,151	73	1,224	
	表流水	1,070	4,365	5,435	
	計	8,949	6,785	15,734	23,488
地下水	伏流水	2,849	752	3,601	
	浅井戸	34,200	8,384	42,584	
	深井戸	2,355	2,176	4,531	
	計	39,404	11,312	50,716	
原水受水		359	0	359	
その他(湧水)		29	1,835	1,864	
小計		48,741	19,932	68,673	23,488
浄水受水		21,201	2,655	23,856	
合計		69,942	22,587	92,529	23,488

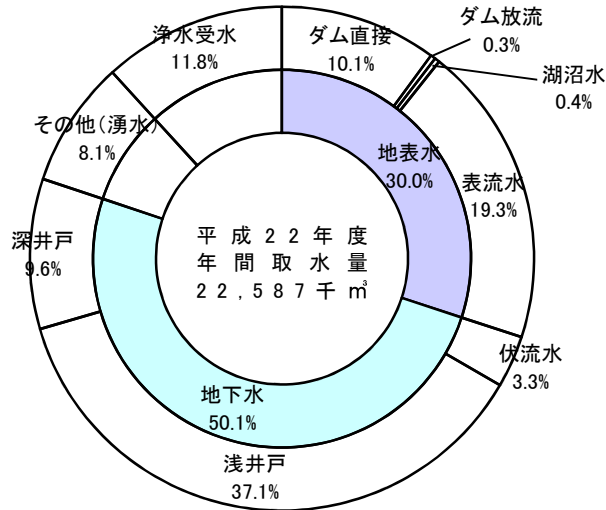
- 1 分水量を含む。
- 2 簡易水道・専用水道のうちメーターのない事業については、次により算定した。
 - ① 浄水施設が塩素消毒のみの場合 年間取水量＝年間給水量
 - ② ①以外の場合 年間取水量＝年間給水量×1.1

(2) 水源の内訳

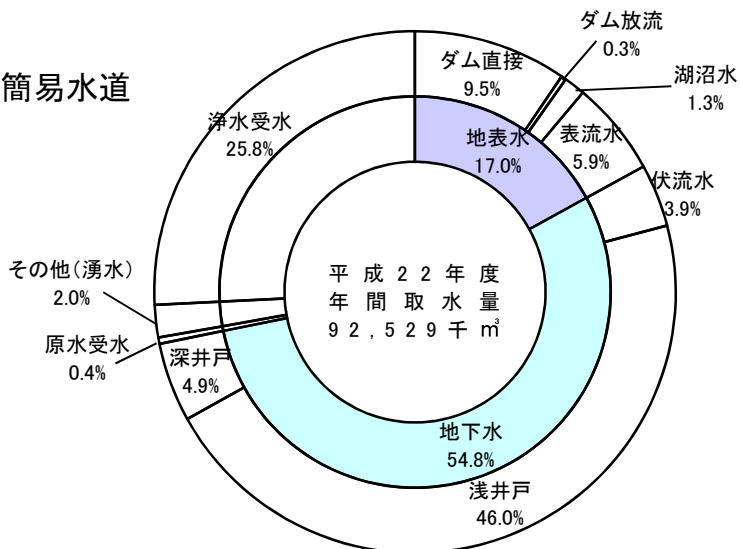
① 上水道



② 簡易水道



③ 合計 上水道+簡易水道



4 給水状況

平成22年度の年間給水量は合計8千9百万m³であり、昨年に比べて微増ですが、全体的には平成12年をピークに漸減傾向にあります。一人一日最大給水量は437L、一人一日平均給水量は354Lであり、同様の傾向にあります。

有収率は上水道88.9%、簡易水道79.3%とほぼ全国平均並となっています。

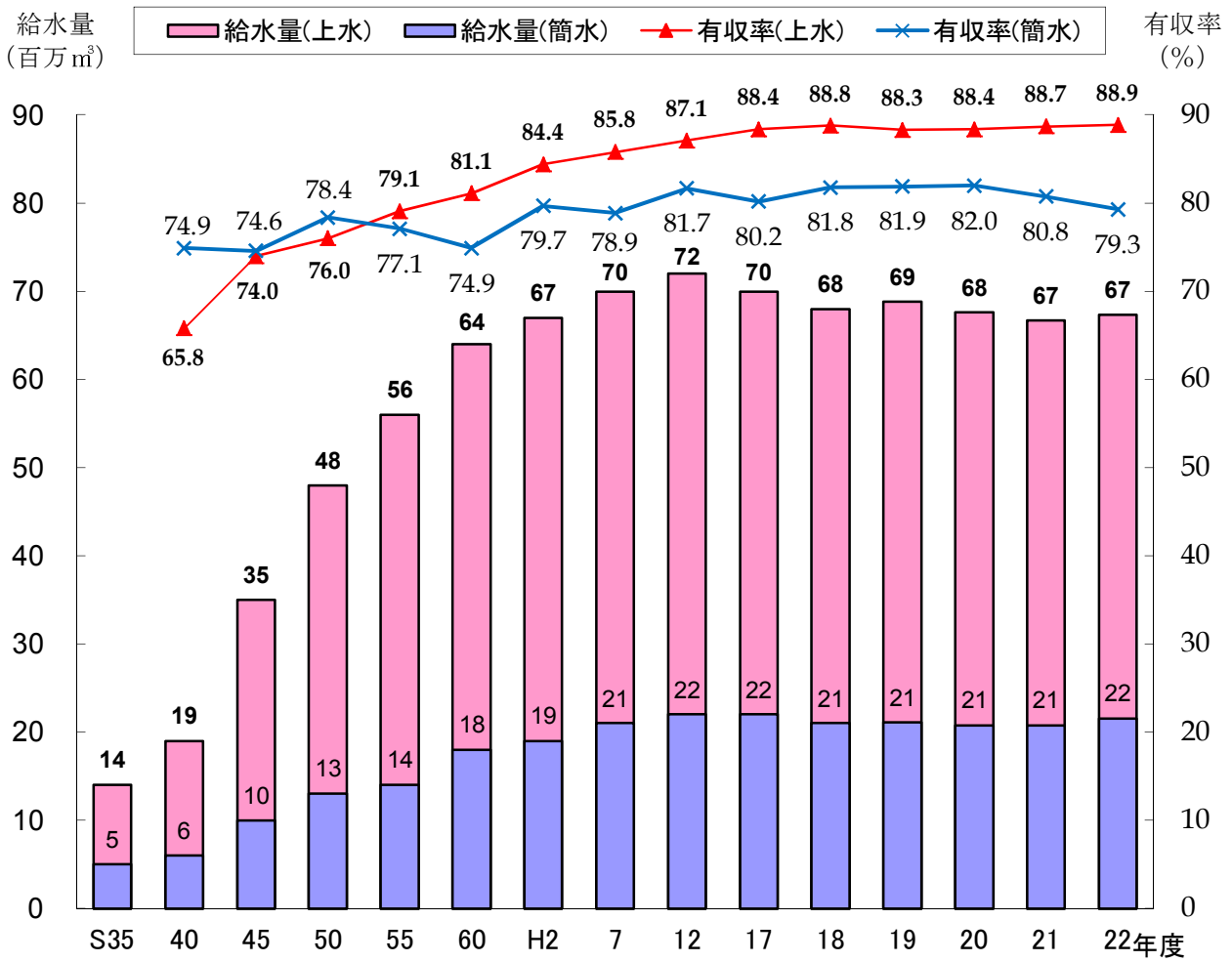
(1) 給水量等の推移

年 度		S35	40	45	50	55	60	H2
年間 給 水 量 (千m ³)	上 水 道	14,478	18,670	34,839	48,295	55,789	63,769	66,756
	簡 易 水 道	4,821	6,057	9,795	12,645	13,987	18,265	18,822
	計	19,299	24,727	44,634	60,940	69,776	82,034	85,578
有 収 率 (%)	上 水 道	—	65.8	74.0	76.0	79.1	81.1	84.4
	(全国平均)	—	(69.2)	(74.0)	(77.4)	(79.6)	(82.8)	(85.7)
	簡 易 水 道	—	74.9	74.6	78.4	77.1	74.9	79.7
	(全国平均)	—	(82.6)	(81.3)	(79.6)	(77.9)	(78.5)	(81.0)
一 人 一 日 最 大 給 水 量 (ℓ)	上 水 道	230	221	379	437	449	442	463
	(全国平均)	(339)	(381)	(451)	(480)	(461)	(477)	(493)
	簡 易 水 道	—	—	250	275	310	348	424
	平 均	—	—	334	384	※ 420	※ 416	※ 453
一 人 一 日 平 均 給 水 量 (ℓ)	上 水 道	182	167	282	330	324	346	358
	(全国平均)	(272)	(295)	(351)	(372)	(361)	(376)	(394)
	簡 易 水 道	112	131	178	198	216	256	275
	平 均	153	155	246	286	※ 302	※ 321	※ 336

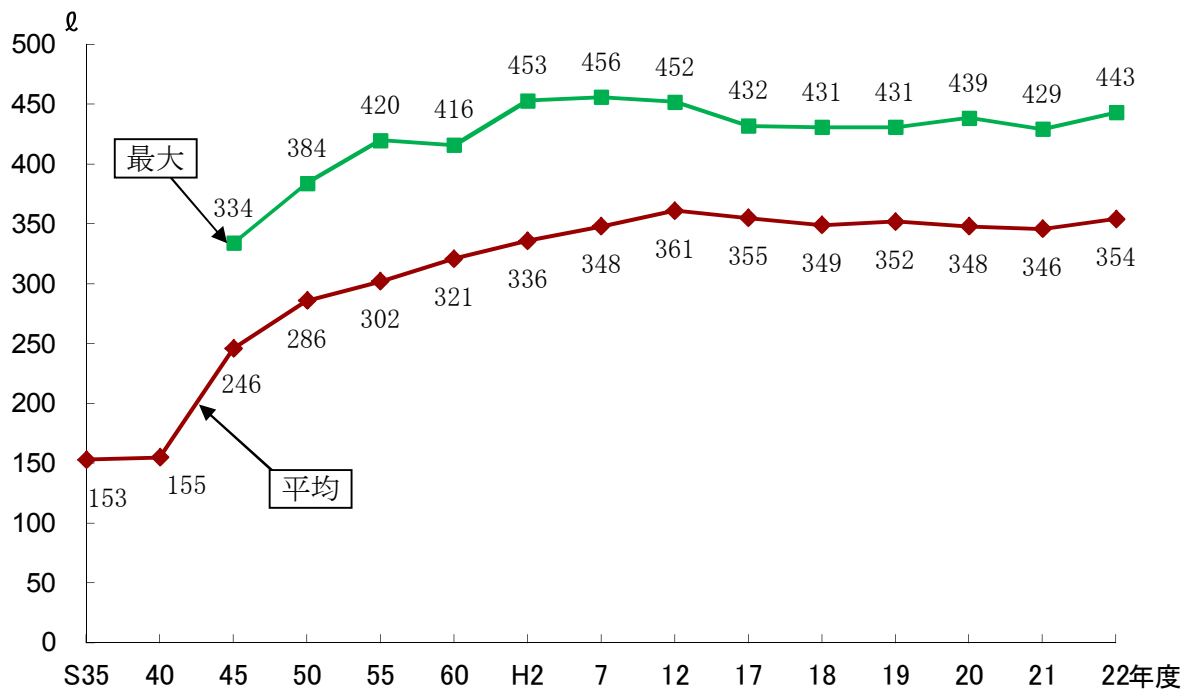
- (注) 1. 分水量は除く
2. ※の「平均」には専用水道分も含む。

H7	12	17	18	19	20	21	22
69,580	72,105	69,497	68,264	68,821	67,607	66,685	67,343
20,693	21,831	22,087	21,486	21,082	20,763	20,743	21,519
90,273	93,936	91,584	89,750	89,903	88,370	87,428	88,862
85.8	87.1	88.4	88.8	88.3	88.4	88.7	88.9
(87.1)	(88.7)	(89.5)	(89.7)	(90.0)	(90.1)	(90.1)	—
78.9	81.7	80.2	81.8	81.9	82.0	80.8	79.3
(80.9)	(81.7)	(79.7)	(78.3)	(79.5)	(80.0)	(79.7)	—
453	448	416	418	415	417	412	422
(482)	(457)	(423)	(419)	(410)	(405)	(396)	—
429	465	476	462	474	506	484	511
※ 456	※ 452	※ 432	※ 431	※ 431	439	429	443
364	374	361	358	361	356	352	357
(391)	(381)	(362)	(358)	(355)	(349)	(344)	—
300	322	339	324	335	335	340	358
※ 348	※ 361	※ 355	※ 349	※ 352	348	346	354

(2) 給水量・有収率の推移



(3) 一人一日給水量の推移 (上水道+簡易水道)



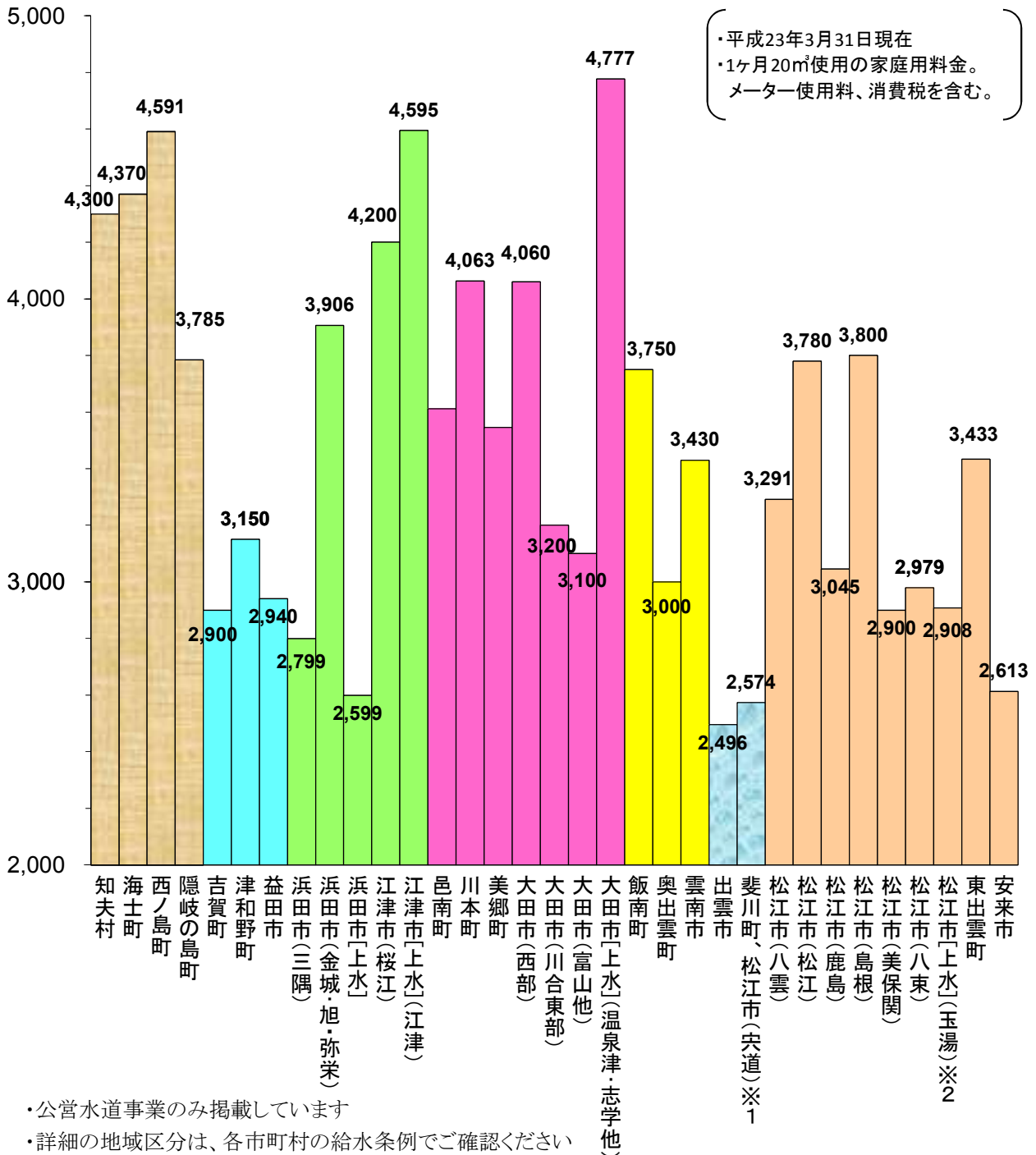
5 料金

水道事業の料金は、各水道事業毎に定めることとなっており、建設投資の内容、地形的・社会的条件等に応じて異なるため、20㎡あたりの料金で比較した場合、公営で1.9倍の差があります。水源をダムに求める地域、加圧の必要な山間地、配管が長くなる過疎地などは高くなる傾向にあります。

現時点では未統一或いは旧市町村単位で統一した市町村もありますが、平成28年度末の水道事業者（市町村・企業団）毎の事業統合により、統一される予定です。

(単位：円)

詳しくは、P.27～42の各水道事業調査表をご覧ください。



- ・公営水道事業のみ掲載しています
- ・詳細の地域区分は、各市町村の給水条例でご確認ください
- ・[] ()がない市町村は、全域同一料金です
- ・[]は上水道事業名、()は簡水の旧市町村名又は事業名

※1 斐川宍道水道企業団と宍道の簡水

※2 松江上水、玉湯上水、玉湯の簡水

